

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 12 月 9 日 (2021.12.9)

【公開番号】特開 2020-198324 (P2020-198324A)  
 【公開日】令和 2 年 12 月 10 日 (2020.12.10)  
 【年通号数】公開・登録公報 2020-050  
 【出願番号】特願 2019-101611 (P2019-101611)  
 【国際特許分類】

H 0 1 L 21/304 (2006.01)

F 2 4 F 7/007 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/304 6 2 2 Z

H 0 1 L 21/304 6 4 8 L

F 2 4 F 7/007 B

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 28 日 (2021.10.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

処理モジュールの隔壁に取り付けられた排気ダクトに接続され、かつ全開と全閉との間で開度を調整可能な排気ダンパーと、

前記隔壁の内部空間に配置された第 1 圧力センサと、

前記排気ダクトに配置された第 2 圧力センサと、

前記第 1 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御する制御装置と、を備え、

前記制御装置は、前記隔壁に形成された開口を開閉するシャッターが開かれていることを条件として、前記排気ダンパーの開度を全開よりも小さな開度に切り替え、

前記制御装置は、

前記シャッターが閉じられていることを条件として、前記第 1 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御し、

前記シャッターが開かれていることを条件として、監視対象を前記第 1 圧力センサから前記第 2 圧力センサに切り替える、システム。

【請求項 2】

前記制御装置は、

前記シャッターが閉じられていることを条件として、前記第 1 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御し、

前記シャッターが開かれていることを条件として、前記排気ダンパーの開度を所定の開度に固定する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記制御装置は、前記シャッターが開かれた後、閉じられる直前に前記第 2 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御する、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

処理モジュールの隔壁に取り付けられた排気ダクトに接続された排気ダンパーの制御方

法であって、

前記隔壁の内部空間に配置された第 1 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御し、

前記隔壁に形成された開口を開閉するシャッターが開かれていることを条件として、前記排気ダンパーの開度を全開よりも小さな開度に切り替え、

前記シャッターが閉じられていることを条件として、前記第 1 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御し、

前記シャッターが開かれていることを条件として、監視対象を前記第 1 圧力センサから前記排気ダクトに配置された第 2 圧力センサに切り替える、方法。

【請求項 5】

前記シャッターが閉じられていることを条件として、前記第 1 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御し、

前記シャッターが開かれていることを条件として、前記排気ダンパーの開度を所定の開度に固定する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記シャッターが開かれた後、閉じられる直前に前記第 2 圧力センサによって測定された圧力に基づいて、前記排気ダンパーの開度を制御する、請求項 4 に記載の方法。